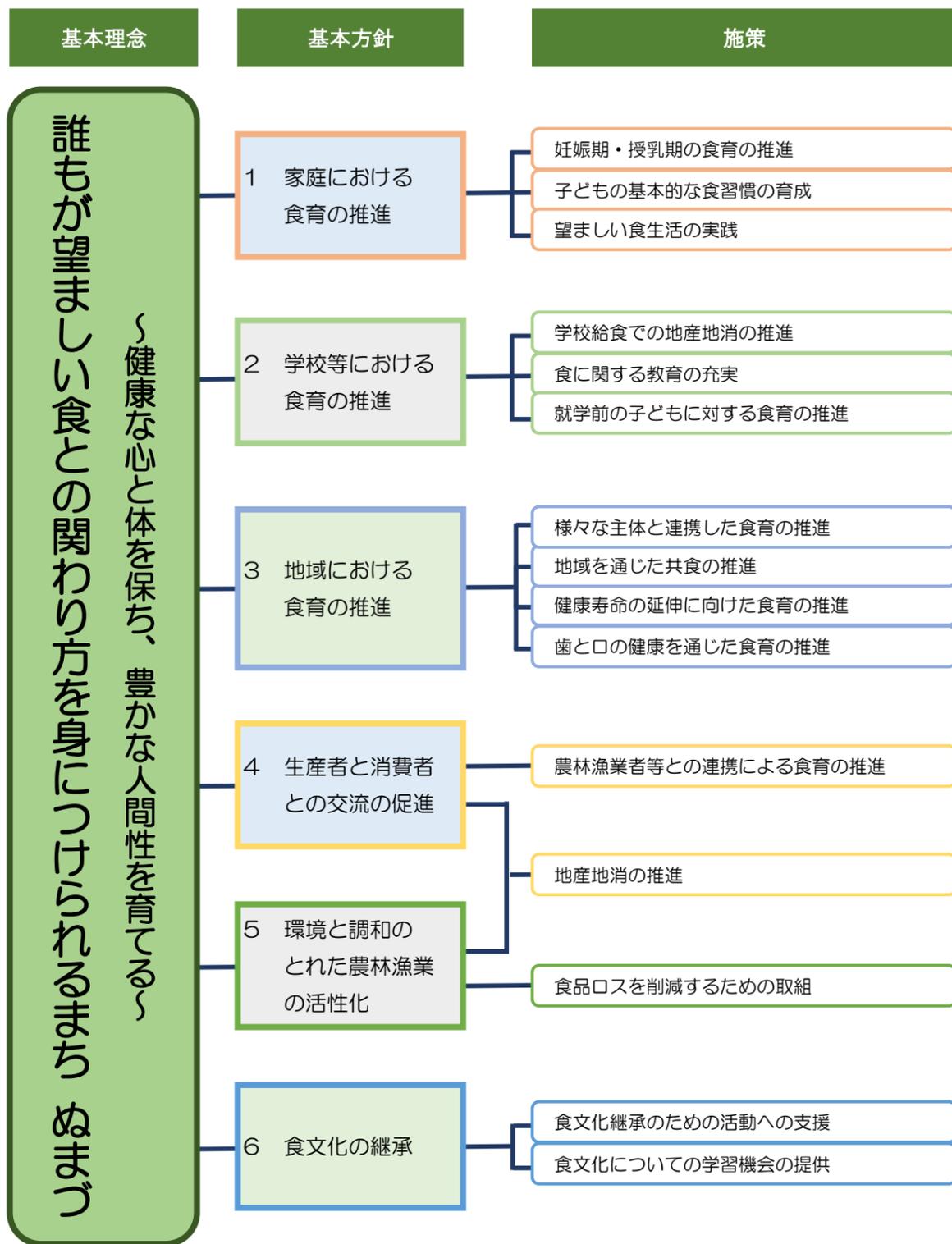


# 計画の体系図



発行 沼津市健康づくり課（沼津市保健センター）  
 〒410-0881 沼津市八幡町97  
 TEL：055-951-3480 FAX：055-951-5444  
 Email：kenkou@city.numazu.lg.jp

# 第3次沼津市食育推進計画 概要版

令和3年度～令和7年度



誰もが望ましい食との関わり方を  
 身につけられるまち ぬまづ  
 ～健康な心と体を保ち、豊かな人間性を育てる～

食習慣は健康の基礎であり、望ましい食生活は健康寿命の延伸に資するものとなります。家庭を中心に、学校や地域・関係団体・行政等の協働による食育の推進が重要となります。

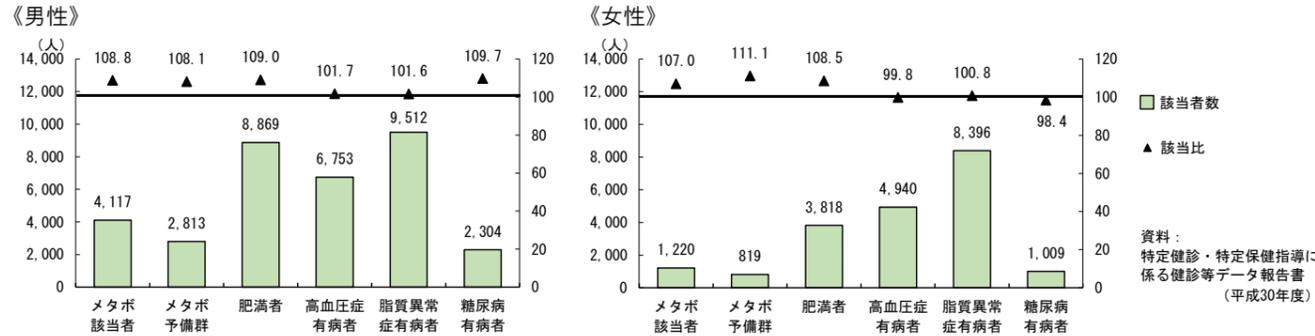
そこで、本計画は、市全体で市民誰もが健康と健全な社会を望むことのできるまちを目指していくという趣旨のもと、次の6つの方針を掲げ、それぞれの対策となる取組を進めます。

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1 家庭における食育の推進       | 2 学校等における食育の推進   |
| 3 地域における食育の推進       | 4 生産者と消費者との交流の促進 |
| 5 環境と調和のとれた農林漁業の活性化 | 6 食文化の継承         |

令和3年3月  
 沼津市

# 食をめぐる本市の現状

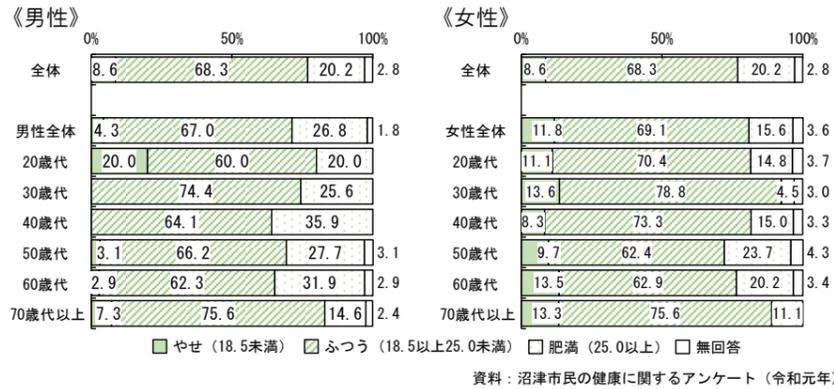
## 【特定健康診査有所見状況】



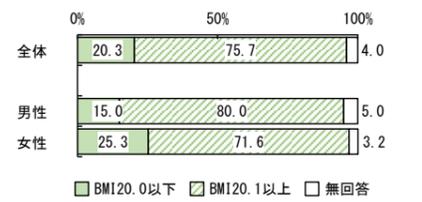
○標準化該当比※では、男性は、全て県より高い数値となっています。女性は、「高血圧症有病者」「糖尿病有病者」を除き県より高い数値となっています。特に「メタボ該当者及び予備群」、「肥満者」では、男女とも有意に高い数値となっています。

※標準化該当比…特定健康診査での有所見率を年齢調整した上で比較を可能にするための数値です。上記は静岡県を基準となる集団として、静岡県全体の結果を100とした場合の沼津市の結果を算出したものとなります。100を超えるものについては静岡県全体よりも高いことを示します。

## 【BMI（体格指数）】



## 【65歳以上の低栄養傾向の割合】



資料：沼津市民の健康に関するアンケート（令和元年）

○全体の20.3%が「低栄養傾向（BMI20.0以下）」となっています。

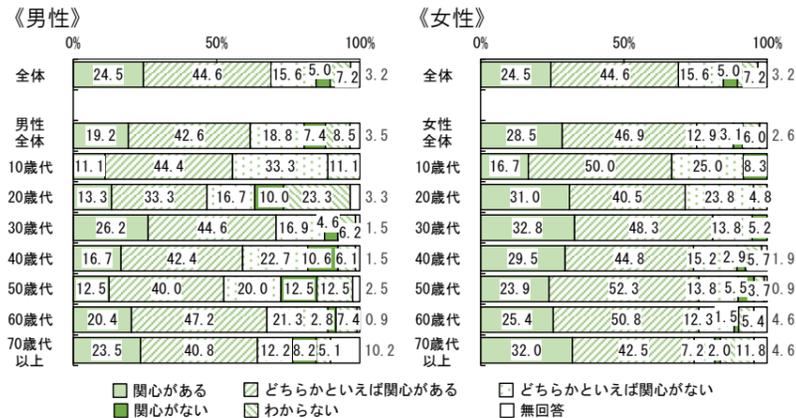
○全体の20.2%が「肥満（25.0以上）」となっています。男性は、40～60歳代、女性は、50～60歳代で「肥満」の割合が多くなっています。

# 基本方針

## 1 家庭における食育の推進

- ・妊娠期・授乳期の食育の推進
- ・子どもの基本的な食習慣の育成
- ・望ましい食生活の実践

### 【食育への関心】



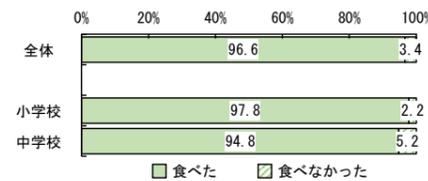
資料：沼津市民の健康に関するアンケート（令和元年）

○全体の69.1%が食育に関心を持っている状況です。また、男性よりも女性の方が関心がある人の割合が多くなっています。

## 2 学校等における食育の推進

- ・学校給食での地産地消の推進
- ・食に関する教育の充実
- ・就学前の子どもに対する食育の推進

### 【児童・生徒の朝食の摂取状況】



資料：沼津市民の健康に関するアンケート（令和元年）

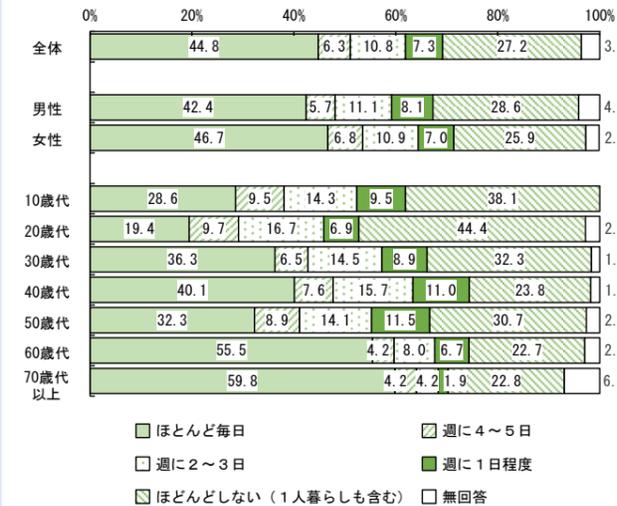
○全体で見ると「食べた」が96.6%で、ほとんどの児童・生徒が朝食を食べています。

# 基本方針

## 3 地域における食育の推進

- ・様々な主体と連携した食育の推進
- ・地域を通じた共食の推進
- ・康寿命の延伸に向けた食育の推進
- ・歯と口の健康を通じた食育の推進

### 【朝食を家族と一緒に食べる頻度】



資料：沼津市民の健康に関するアンケート（令和元年）

○朝食または夕食をほとんど毎日家族と一緒に食べている人の割合では、朝食と夕食で、いずれも20歳代が最も少なく（朝食19.4%、夕食38.9%）、60歳代以上で多い割合となっています。家族との共食の頻度は、20歳代から50歳代で少ない傾向がみられます。

### 【夕食を家族と一緒に食べる頻度】

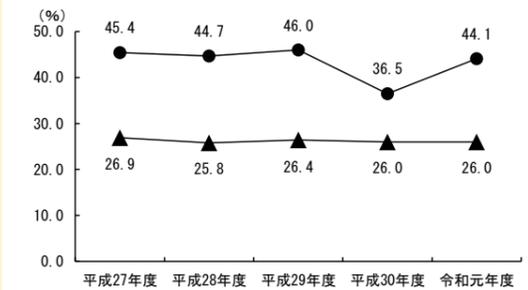


資料：沼津市民の健康に関するアンケート（令和元年）

## 4 生産者と消費者との交流の促進

- ・農林漁業者との連携による食育の推進
- ・地産地消の推進

### 【学校給食に地場産物を使用する割合】



資料：沼津市民の健康に関するアンケート（令和元年）

○平成30年度を除き、45%前後を推移していますが、全国の平均と比べると、いずれの年度も高い割合となっており、地場産物の利用に積極的であることがわかります。

### 【学校給食 地産地消の取組実績】

食品名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
プチヴェール	○	○	○	○	○	○
玉ねぎ	○	○	○	○	○	○
米	○	○	○	○	○	○
煎茶	○	○	○	○	○	○
粉末茶	○	○	○	○	○	○
抹茶						○
ほうれん草	○	○	○	○	○	○
大中寺芋	○		○	○	○	○
小松菜						○
枝豆						○
白ねぎ						○
カリフラワー						○

資料：沼津市農業振興推進協議会

○平成26年度に大中寺芋を、平成30年度に抹茶、小松菜（平成22年度以来再度取り入れ）、枝豆、白ねぎ、令和元年度にカリフラワー、ブランド米「するがの極」（米に含む）を新たに取り入れました。

## 5 環境と調和のとれた農林漁業の活性化

- ・食品ロス削減のための取組
- ・地産地消の推進

## 6 食文化の継承

- ・食文化継承のための活動への支援
- ・食文化についての学習機会の提供